

QOL健診全国展開

弘大と共同研究の明治安田生命

健康寿命延伸へ期待

来月から

する。同社は「約3万7000人の営業職員ネットワークを通じて、全国の皆様に(明治安田生命版QOL健診を)届ける」としている。

弘前大の村下公一健康未来イノベーション研究機構長は「QOL健診は県内を中心に展開されてきたが、岩木健康増進プロジェクトの一つの大きな成果として全国に広がることになる」とし「短命県返上に寄与するのはもちろん、全国展開から、ひいては世界にまで広がれば」と期待した。(田中康貴)

病予測モデル研究と未病教育研究に取り組んできた。未病段階からの疾病予防などの新サービス開発を目指す同社は、QOL健診の啓発効果について「楽しく短時間で全身の健康状態を知ることができ、健康改善のきっかけとなる」と評価し

ており、全国開催を通じて顧客や各地域住民の健康づくりを後押ししたい考え。「QOL健診 明治安田X弘前大学」と銘打ち、同社が継続的な健康増進に向けて展開している「みんなの健活プロジェクト」の健康チェックの一つとして開催

弘前大学(福田眞作学長)と未病についての共同研究に取り組んでいる明治安田生命保険相互会社(永島英器執行役社長)は13日、弘前大が開発した啓発型健康診断「QOL健診」を、4月から全国で開催すると発表した。これまでの研究成果を基に明治安田生命版にアレンジし、健康啓発型イベントとして実施する。岩木健康増進プロジェクトの成果が生保大手によって全国展開されることになり、社会課題である健康寿命の延伸や、本県の「短命県返上」につながることを期待される。

同社と弘前大は2018年に共同研究講座「未病科学研究講座」を設置し、未